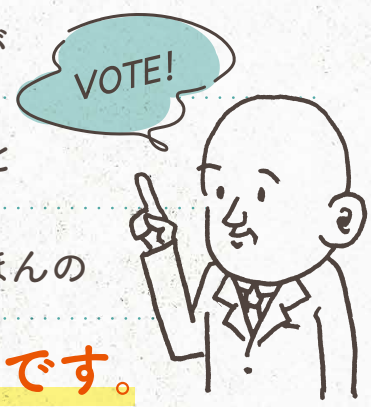
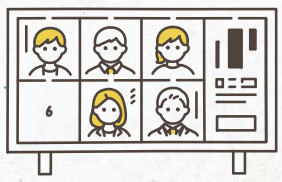
みやけ MIYAKE MAKOTO
こまえをつなげる
こまつなNEWS
Vol.53
2022年06月号
発行：責任編集
狛江市岩戸北3-18-8-701
狛江で分かりやすい政治を伝える会

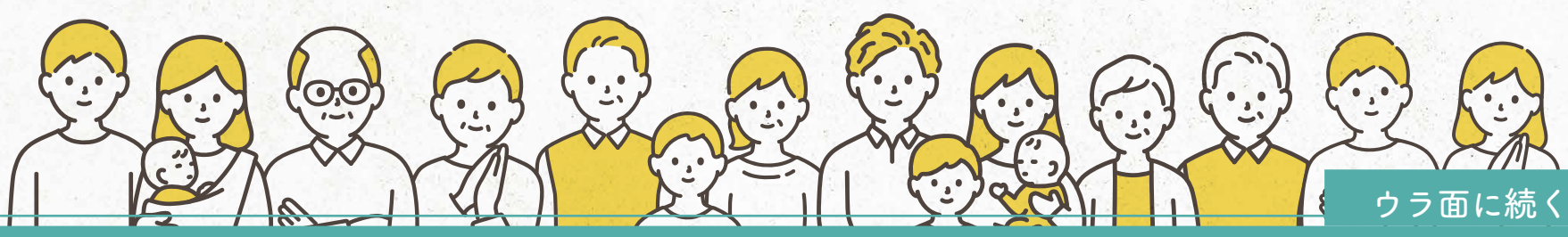
※前回2018年市長選挙時の市政リポートの文書をリライトしています。

狛江の市長選挙が始まります。また、7月には参議院選挙もやってきます。

投票へ行くか、行かないかを迷われている若い方もいらっしゃると思いますが、**「別に気負わなくてもいいですよ」**とお伝えしたいです。実際に、**「政治のことはよくわからない」**と思われる方はたくさんいらっしゃいます。それでも、わからないなりにウェブサイトなどを見て、自分なりにいいと思う候補者がいれば投票する、それだけでいいと思います。なぜならば、皆さんがこれから生き続けて、暮らしていく限り、選挙は何十回もやってくるからです。お伝えしたいことは、**初めての選挙**はあくまでも**「はじまり」**ということを忘れないでほしいということです。選挙は投票して終わりではありません。自分の投票した相手が、自分が関わった選挙で選ばれた代表が、その任期中に何をするのか、それを考えることが何よりも重要だと思います。選んだ相手が勝とうが負けようが、自分がその人に投票したという事実を、自分と社会の関わりの**「はじまり」**だととらえてください。そして、そこから政治や選挙に、人生のほんのわずかな時間でも**関心を持っていただきたいのです。**







ウラ面に続く

しかし、どうしても選挙には行きたくない、行く価値を感じられないという方もいらっしゃいます。そうした方には、もう一つお伝えしておくと、年をとってから**「政治に関心を持ってこなかったけれど、今は後悔している」**とおっしゃる有権者の方々を私はたくさん見てきました。特に30代に入ると多くの人は配偶者を持ったり、子供を授かったり、親が要介護になったりといったライフサイクルの変化を実感してきます。自分が守るべき存在ができたとき、私たちは確実に社会の助けを必要とします。あるいは、その助けが適切であることを望むようになります。同時に、どんどん**「知りたいのにわからないこと」**が増えてきます。多くの人が、ここで初めて**「政治に無関心では良くないから、投票に行ってみようかな」**と感じるようです。お子さんやお孫さんがいらっしゃる方は、ぜひこうした話を伝えて頂ければと思います。

あなたは政治のことを考えなくても、政治はあなたのことを考える。

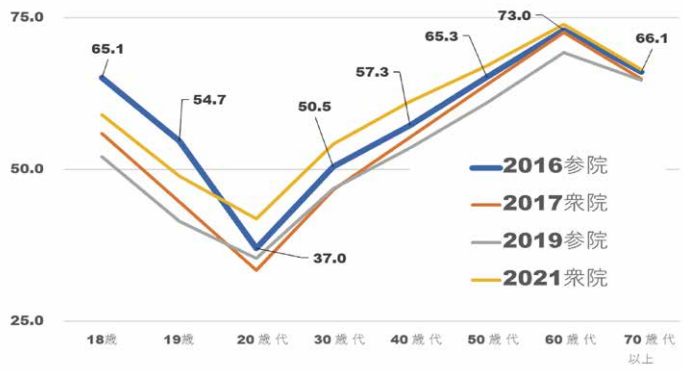
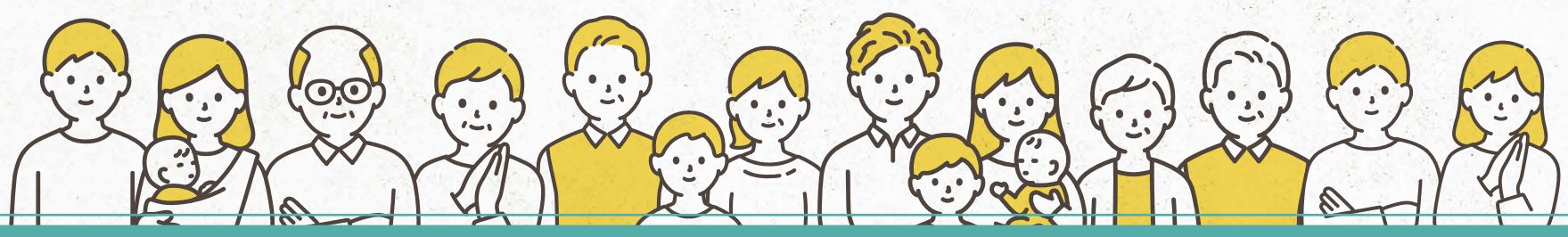
この言葉はアウン＝サン・スー・チーというミャンマーの指導者の父親が残したセリフです。なんとなく、心に残りませんか。会ったことのない人であっても、**「あの人はあなたのことをいつも考えているんだよ」**と言われているようなものです。実際に政治は私たちのことを、私たちが自分たちのことを考えているのと同じくらい強く考えていると思います。政治や社会というものは、たしかに実態がつかみにくい相手です。メディアを眺めていると、政治家は胡散臭く感じることがあるかもしれません。くだらないスキャンダルや、ため息の出るような不祥事の数々を見ていると、**「政治なんてどうでもいいや」**と思うかもしれません。それでも、さきほどのセリフを勝手に借りますが、政治はあなたのことを考え続けます。なぜならば、どれだけ不完全であっても、きれいごとであっても、**「あなたのことを考える」**のが政治だからです。そうした政治と、何かのタイミングで向き合ったとき、投票は**「私の気持ちをあなたに（しばらくの間）託してみます」**という最大のメッセージになります。さて、狛江市長選挙、参議院選挙がやってきます。あなたの**「はじめて」**になりますように。

狛江市の選挙でも、18歳、19歳は20歳代より高い投票率です。

直近４回 狛江市国政選挙 世代別投票率

年 代 別	2016参院	2017衆院	2019参院	2021衆院
18歳	65.1	55.9	52.1	59.0
19歳	54.7	44.7	41.5	48.9
20 歳 代	37.0	33.4	35.4	41.9
30 歳 代	50.5	46.6	46.8	54.2
40 歳 代	57.3	55.3	53.6	61.2
50 歳 代	65.3	64.0	61.0	67.1
60 歳 代	73.0	72.6	69.3	73.9
70 歳 代 以上	66.1	64.9	64.7	66.5

直近４回 狛江市国政選挙 世代別投票率推移



右の表とグラフは、6年前に18歳選挙が施行されて以降に狛江市で行われた国政選挙の世代別投票率です。18歳19歳の投票率が比較的高くなっています。但し、先進国、OECD加盟国での国政選挙と比べると、日本における世代別投票率は相対的に低い現状になっています。